

科目名		授業形態	担当教員名	
装具学		講義	谷 和真	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
装具の概要を理解し、臨床において対象者の障害、症状などとの関連を捉えられるようにする。また、対象者への装着を踏まえ、その適合や治療プログラムを検討する等につながるように、装具の選択することやニーズを考えることができる基礎を身につける。				
授業の到達目標				
・装具の目的を説明できる。・装具の基本的な構造や機能について説明できる。・装具の種類、適応疾患、機能について説明できる。・下肢装具の適合性を確認するために、チェックアウト項目を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	装具学総論			
2	下肢装具の部品とその機能			
3	短下肢装具			
4	長下肢装具・股装具・膝装具			
5	靴型装具			
6	下肢装具のチェックアウト			
7	体幹装具、側弯症装具			
8	上肢装具			
9	疾患別装具の処方：脳卒中片麻痺			
10	疾患別装具の処方：整形外科疾患			
11	疾患別装具の処方：関節リウマチ			
12	疾患別装具の処方：対麻痺・小児			
13	演習（装具カンファレンス） 1			
14	演習（装具カンファレンス） 2			
15	装具学まとめ（国家試験対策を含む）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%			
レポート・課題				
小テスト	20%			
平常点				
その他				
自由記載	授業の中で一度小テストを実施します。範囲は授業の中で説明します。			
教科書				
書名		著者・編集者名		出版社名
15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 装具学 第2版		石川朗 編		中山書店
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名		出版社名
義肢装具学テキスト 改訂第4版		細田多穂 他		南江堂
自由記載				
備考				